

日刊 動労千葉

84. 3. 5

No. 1580

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

3.25へむけた総決起体制を確立しよう

≡ 3/2 才5回 支部代表者会議で確認 ≡

動労千葉は三月二日、第五回支部代表者会議を開催し、動乗動、84春闘、運輸保安、職場の課題等と結合して3・25三里塚五割動員実現にむけた総決起体制を確立する事を決定しました。

労働者・人民が展望を切り拓く闘いを求めている

中曽根の戦後政治の総決算＝軍事大国化路線は、より露骨に強権的に打ちだされてきています。国鉄当局は「六五年度二五万人体制」を、国会での仁杉発言という形で公然化し、「職場規律」「合理化」をはじめとする労働運動圧殺攻撃継続を宣言しました。

そして、動労「本部」革マルの屈服・尖兵化をテコに、要員合理化の「予想以上の進展」と「59・2」において職場集会すら満足にできなかった国労指導部の屈服に勢いを得、「内達！動乗動」と「60・3」を一挙的に強行し、「職場規律」攻撃を併行的に強行することを通して国鉄労働運動の背骨を最後の叩き折ろうと狙っています。こうした状況を打ち破り、労働者・人民の側から展望を切り拓く闘いが何よりも求められています。

そのために、第一に反動・中曽根の軍事大国化へむけた反対勢力圧殺（労働運動、住民闘争圧殺＝国鉄・三里塚）を打ち破る全国的政治闘争の高揚、第二に、臨調の「職場の力関係の逆転＝職場支配権の奪還」路線を粉碎する職場・生産点の闘いの貫徹が不可欠です。

3・25は階級情勢を切り拓く突破口

動労千葉は、第八回定期大会の「三里塚＝国鉄を基軸に反動・中曽根と対決する」方針のもと、3・25五割動員を決定し、組織の総力をあげた取り組みを展開しています。

この闘いは、81・3ジェットストから11・9レガン来日阻止闘争を闘いぬいた地平に踏まえ、中曽根の軍事大国化攻撃をはね返す階級情勢を切り拓き、内達＝動乗動改悪阻止闘争と84春闘の高揚を切り拓く突破口をなすものです。

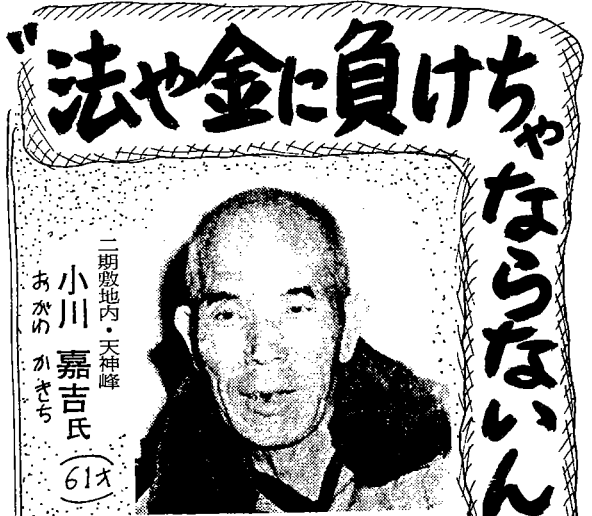
第五回支部代は以上の立場に踏まえ、3・25五割動員へ向けた具体的取り組みについて次のとおり決定しました。

3・25五割動員にむけた具体的取り組み

- 一 勤務以外全員参加の準スト体制の決意で、職場集会、個別オルグ等あらゆる手段をもって、
- 二 3・25総決起の意義等について全員オルグする。
- 三 内達＝動乗動、84春闘、運輸保安、職場規律等、職場の課題と結合して総決起体制をつくる。
- 四 三月十四日に開催される第八回定期委員会を「3・25三里塚」五割動員への総決起体制確立へ向けて積極的な傍聴体制も含め、圧倒的成功をかちとる。
- 五 「2・26労組活動家懇談会」の圧倒的成功を踏まえ、三里塚を闘う労働運動の拡大を目指し、全国の「3・25」へ向けた集会等に積極的に取り組む。
- 六 組織内外へ向けた教宣活動ならびに、各支部での情宣・学習活動を強化する。

<スケジュール>

3月7日	第六回サークル協総会
8日	生活と福祉を守る中央行動
12日	84春闘、働くものの生活と権利を守る千葉県行動
14日	第八回定期委員会
23日	春闘中央行動
25日	3・25三里塚現地総決起集会



二期敷地内・天神峰 小川嘉吉氏 (61才) あがめかざち

「法や金に負けちゃならないんだ」

3.25に総決起しよう

敷地内は訴える

結局は、日本の憲法も安保条約があるために、「平和憲法を守れ」だけでは足りないんだ。安保条約があるために憲法は歪められているんだ。だから、私らが憲法に守られているとはいえないよ。戦後っていうのは安保条約と憲法との両方に足をかけちゃっているわけだから。本当に自分を守るためには実力闘争が必要だ、口だけではダメだということを、宮岡さんから学んだんだ。どんなに金に負けなくても収用法で土地をとってしまうというからよ。だから、私は法律の勉強を始めたんだ。学校で教わった法律というのは「法を守れ、法に違反するな」ということだけだ。これでは用は足りない。収用法の場合は、法を犯さなくても法で土地をとってしまうという押しつけの法律だからよ。「どうしたら法に犯されないか」という立場から、実際の自分にあてはめながら、私は法律の勉強にむかっていたわけだよ。収用法が適用されても、収用法に負けちゃならないとたたかっていたんだ。結局、三里塚のわれわれのたたかいというのは、農業を守るためには、法とも金ともたたかっていたわけだよ。

『反対同盟編著「大地をうろば響きあり」』・「豊地死守＝三里塚闘争の原点」より